

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	経営対策課
職	課長
氏名	山下 悟志

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
県民に対する安定的で安全な食料供給に寄与するのみならず、県土の保全といった公益的機能を有する農林水産業を次代に継承していくため、企業的な経営を目指す「力強い」担い手の育成・確保を図り、経営感覚に優れた担い手が本県の生産の大宗を担うような経営構造を実現させるための条件整備を図る。併せて、農業・農村の持つ多面的機能の果たす役割を広く啓発するとともに、農地・農業用水等の保安全管理を地域ぐるみで行う取組みを推進する。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
①効率的かつ安定的な企業的経営体(認定農業者、法人化を目指す集落営農組織)が本県の農業生産・農地利用の大宗(約8割)を担うような農業構造の実現 ②農地・農業用水等の資源の適切な保安全管理を地域ぐるみで行う取組みの推進 ③小学生を対象とした体験型環境教育「いしかわ田んぼの学校」の実施支援					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①担い手が田に占めるシェア	43 %	H23 年度	80 %	H27 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン(H18策定)
①水田経営所得安定対策の対象集落営農組織数	170 組織	H23 年度	400 組織	H27 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン(H18策定)
②農地・水・環境保全向上対策の保全活動面積 (農振農用地に対する面積カバー率)	14,074 ha	H23 年度	19,200 ha	H27 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン(H19改正)
	36.7 %	H23 年度	50 %	H27 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン(H19改正)
③「いしかわ田んぼの学校」実施校の割合	70.6 %	H23 年度	100 %	H27 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン(多面的機能の理解促進)



24年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①地域の中心となる経営体への農地集積の促進	平地で20～30ha等の経営体が大宗を占める構造を実現するため、地域農業の中心となる担い手や地域農業のあり方を示した人・農地プラン作成の支援を行うとともに、担い手に農地を託す農地所有者等への助成を行う。
①中山間地域等における集落営農組織設立の支援	中山間地域等の条件不利地において、集落ぐるみで農地や景観の維持・保全に取り組み体制の整備を図るため、一定規模を有し、将来にわたり自然環境に配慮した営農を実施する集落において、営農組織設立に要する初期経費の一部を助成する。
②地域ぐるみで行う農地・農業用水等の保安全管理体制の確立	本県の農業・農村を支える農地や農業用施設を適切に保全するとともに、これらが持つ多面的機能を最大限に発揮させ、地域全体の生活環境の向上を図る観点から、地域ぐるみで施設等を保安全管理していく体制づくりを推進するため、農地・水・環境保全向上対策
③「いしかわ田んぼの学校」募集の推進	ホームページでの情報発信や県内全小学校へのパンフレットの配布、県教育委員会とのタイアップなど、小学校に対して積極的な参加を働きかける。